

要請番号（JL12418B15）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パプアニューギニア	H114 理学療法士		個別	交替 2代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

マヌス州政府

2) 配属機関名（日本語）

マヌス州立病院

3) 任地（マヌス州ロレンガウ） JICA事務所の所在地（ポートモレスビー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機で約 2.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、外科、内科、婦人科、小児科、歯科、理学療法科、性感染症科、臨床検査室、レントゲン室、薬剤局を有し、入院施設(約60床)も備えたマヌス州最大の総合病院である。同州保健局の管轄下であり、州都であるロレンガウに設立されて以来、州内住民に対する医療サービスの拠点として機能している。年間予算は約4億円、総職員数約150名の規模。これまでに臨床検査技師、理学療法士、薬剤師の青年海外協力隊員(以下JV)を受入れた経験があり、前任者の理学療法士JVは2017年1月まで活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パプアニューギニアは、理学療法士の資格が認可されてまだ10年足らずと歴史が浅く、支援の余地が大きい分野である。そのため、同国の理学療法士の技術・知識は低く、JVにはワークショップを定期開催し、同国理学療法士や医療従事者のリハビリテーション知識・技術の向上支援が求められている。

前任JVは、同僚理学療法士不在の中で、同僚の健康普及員(以下HEO)や病棟看護師と連携し、院内の理学療法サービス実施環境の基盤づくりを行った。また、病院の要請に基づいて近隣の学校へ訪問し、児童に対して巡回型出前講座の活動にも取り組むなど、地域住民の理学療法に対する認知度を高める成果を上げた。これらの活動は配属先から高く評価されており、配属先も現地理学療法士の正規雇用への取り組みが始まった。これらのことから、JVによる協力を再開することにより協力効果が期待できることから、後任要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 1.入院患者・外来患者に対する理学療法の実施を通じて、同僚の技術・知識レベルの向上を図る。
- 2.院内外でワークショップを行うことにより、理学療法士、医療従事者の知識・技術の向上を図る。
- 3.近隣学校・ヘルスセンターを巡回して、運動療法、生活習慣病予防のPR活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

治療用ベッド、車椅子、松葉杖、執務用机、ロフストランド杖、4点杖、歩行器等

4) 配属先同僚及び活動対象者

理学療法士:1名(予定)
HEO:女性 30代 1名
看護師: 女性 40代 1名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：安全対策上の理由

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：経験に基づく指導が必要

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居は他のJVと同居となる可能性がある。